





## 中央を走る幹線水路 一半田地区



## 構造改善事業

## 完成近い稚蚕共同飼育所 一川又地区



## 20haに農道新設 一真家地区



大字川又の小学校の隣りに建築されている稚蚕共同飼育所は、総工費1,430万6千円で、3月末完成をめざして工事は急ピッチです。

総面積は666.6平方メートルで、このなかには飼育室、作業室、機械室、管理室などをつくり、年間1,313箱(1箱2万粒)の共同飼育を予定している。

この工事と平行して、芦穂地区にも稚蚕共同飼育所が建築されています。

町では、協業基盤整備事業と交換分合付帶農道事業を園部地区の真家地区に実施していましたが、このほど完成しました。

|             |         |
|-------------|---------|
| 受益面積        | 約20ha   |
| 受益者         | 約70名    |
| ○交換分合付帶農道事業 |         |
| 事業費         | 383万5千円 |
| 道路延長        | 3,850m  |
| ○協業基盤整備事業   |         |
| 事業費         | 32万5千円  |

## 明るい会

## 新入生に三色帽500個

## 昨年に続き島田さん

の願いどおり、新入生から一人の事故者もだしたくないものです。今年も、島田さんの帽子で、新入生から一式のひな人形と五月一式の内かざり式。

寄贈した人は次のとおりです。林保育所へ大字柿岡大塚誠さん(男)は、ひな人形と五月の内かざり式。土浦の窓愛園へ大字柿岡の桜井住子さん(女)も、やはりひな人形と五月一式。

寄贈した人は次のとおりです。食生活改善推進員養成の第一回の修了生で、修了以来あらゆる集会の場を利用して料理の実習をしたり、野菜の計画栽培をして「農村のばかり食」の改善とか農村に不足しがちな、たんぱく質の補給にもおおいに力を入れ、健康な町づくりにはげんでいます。

今度の業績発表も、日ごろ推進員として活躍しているあります。

現在、町では昭和三十八年から毎年修了生を送り出しています。すでに一〇六名になっています。

これら修了生たちも、齊藤さんに負けないよう、

部落の食生活の改善をおおに活躍してほしいもので

す。

今度の業績発表も、日ごろ推進員として活躍しているあります。

